(一) 号外 (財政事情公表特集) 小田原市報 昭和28年11月16日 (月曜日)

小田原市報

号外

発行所
小田原市役所
小田原市早川3丁目
編集兼発行人
石井重治
印刷所
株式会社 共同印刷

定価一部三円

小田原市財政事情の公表

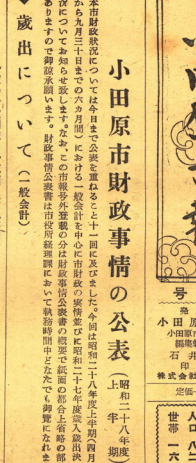
(昭和二十八年 半期度)

小田原市推定人口及び世帯 (十月一日現在)
人口 一八、八二一九六
世帯 一六、七一二

本市財政状況について今日まで公表を宣言致こと十一回に及びました今回の昭和二十八年度上半期(四月一日から九月末日迄)における一般会計を中心に市財政の実情を公に報告致します。なお、この市報号外発行の分は財政事情公表委員の概要に就て説明の部分も有りますので御読承願います。財政事情公表書は市役所経理課において執務時間中閲覧とどなたでも御覧になれます。

◆歳出について(一般会計)

一般会計歳別歳出予算額及び上半期支出済額調 (昭和二八・九・三〇現在)



以上図が示すとおり歳計四億六千貳百七拾八萬三千円となつております。これは当初予算額三億六千拾貳萬貳千百七拾五円に対し四捨五入して一割増の追加予算の結果であります。次に各款ごとに項目別の予算額、上半期支出済額について調べてみます。

款別	予算額 金額	予算額 百分比	上半期支出済額 金額	上半期支出済額 百分比
議会費	二二、七八八、三一五	六、六四五、九三一	一二、八八一	〇、〇一
市役所費	七七、九九九、二〇一	二一、六八	一四、五一〇、二〇一	一八、九
警察消防費	六六、九九九、二〇一	一四、五一	三四、一二〇、二〇一	四四、四
土木費	七三、七五五、七一九	一五、九	一二、一二〇、四四四	一〇、〇
教育費	六〇、八八六、三三八	一二、二	一二、一二〇、四四四	一〇、〇
社会及び労働施設費	六六、一一九、五八九	一三、六	三〇、一二五、五一二	三、三
保健衛生費	一二、一一四、一二四	二、四	一二、一二〇、四四四	一〇、〇
産業経済費	一二、一一四、一二四	二、四	一二、一二〇、四四四	一〇、〇
財産費	一二、一二〇、四四四	二、四	一二、一二〇、四四四	一〇、〇
職員費	八、一三七、〇〇〇	一、八	三、三六八、五七七	一、二
公債費	三〇、五六〇、〇〇〇	〇、七	一、一二〇、九一一	〇、九
諸費	一、一四五、六一五、九七	〇、三	一、一二〇、九一一	〇、九
予備費	六、六〇〇、〇〇〇	〇、一	一、一二〇、九一一	〇、九
合計	四六、二一七、八三〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	二一、六八五、三一五、四一〇	一〇〇、〇〇〇

土木費

種別	予算額 金額	予算額 百分比	上半期支出済額 金額	上半期支出済額 百分比
道路橋梁費	18,192,152	24.7	6,655,371	28.7
河川費	2,906,000	3.9	1,352,800	5.8
失業対策事業費	20,447,485	27.7	8,256,126	35.5
都市計画費	9,124,022	12.4	487,001	2.1
臭害土木費	1,481,130	2.0	431,724	1.7
港湾費	12,000,000	16.3	3,000,000	12.9
下水道事業費	7,500,000	10.2	1,642,068	7.1
建設費	2,108,919	2.8	1,379,350	6.2
合計	73,759,708	100.0	23,204,440	100.0

土木費中第一位を占める失業対策費は失業救済にもとずく就労者の人件費その他物件費に充てられ今期24,540人の就労人員を数えるに至りました。もつともこれらに基する費用の三分の二は国庫よりの負担があります。その他今期は道路改修、都市計画にもとずく区画整理事業、清掃施設、総合運動場建設等に主力を尽け施行いたしました。

保健衛生費

種別	予算額 金額	予算額 百分比	今期支出済額 金額	今期支出済額 百分比
保健衛生費	686,250	5.2	255,140	4.7
伝染病費	3,186,420	24.2	1,395,316	27.8
結核予防費	454,170	3.4	——	——
トラコーマ予防費	34,030	0.3	——	——
寄生虫予防費	114,600	0.9	——	——
予防接種費	1,348,220	10.2	537,818	10.8
母子衛生費	160,900	1.2	35,150	0.7
火葬場費	454,545	3.4	210,023	4.2
公共伝所費	190,800	1.5	82,534	1.7
清掃費	3,712,000	28.1	1,334,485	26.7
臭害土木費	1,792,180	13.6	969,680	19.4
犬猫予防費	120,000	0.9	30,547	0.6
環境衛生費	56,268	0.4	20,930	0.4
諸費	883,480	6.7	147,728	3.0
合計	13,194,224	100.0	5,001,351	100.0

本市保健衛生については各種伝染病の予防に全力をあげ定期的の予防接種、ハエ・蚊・鼠の駆除を実施する等、予防に重点をおいております。不幸にして罹病されました方には病院に收容早期治療に尽力しております。伝染病費はこれらに伴う医薬品、人件費、物件費に使われました。一方市内の清掃費については、塵芥車・自動車を動員して清掃に努力し今期160万貳千余円を集荷し、鼠族一掃に努めて駆逐いたしました。

社会及労働施設費

種別	予算額 金額	予算額 百分比	今期支出済額 金額	今期支出済額 百分比
生活保護費	44,272,300	70.1	25,443,994	84.1
民生委員費	942,500	1.5	175,020	0.6
児童福祉費	8,892,286	14.1	2,705,329	8.94
身体障害者福祉費	154,950	0.2	18,050	0.06
母子福祉費	574,600	0.9	326,150	1.1
老人福祉費	1,334,900	2.1	83,760	0.28
内閣恩給費	36,500	0.1	240	0.01
授産場費	4,916,273	7.9	1,122,830	3.7
住宅管理費	431,180	0.7	244,211	0.8
諸費	770,600	1.2	140,712	0.41
母子住宅建設費	793,500	1.2	——	——
合計	63,119,589	100.0	30,260,296	100.0

この費用は民生保護の費用でありまして生活保護費に基ずく生活、医療、教育、住宅、野営、生産、生業つも扶助等に関した費用が大部分であります。年度共助や母月約70%以上を市に負担いたしております。又生活保護者中比較的進作者に対する手内職の職業指導のための費用も組込まれております。次に児童福祉費は児童の保護保育に使われます。

教育費

種別	予算額 金額	予算額 百分比	今期支出済額 金額	今期支出済額 百分比
教育委員会費	8,516,463	14.0	3,742,502	12.74
小学校費	16,802,581	27.6	6,968,707	23.7
中学校費	9,491,750	15.6	4,861,723	16.5
教育指導費	2,494,170	4.1	1,402,857	4.77
学校保健費	2,557,927	4.2	1,030,306	3.51
学校給食費	2,341,460	3.8	853,722	2.9
図書館費	2,859,348	4.7	1,231,302	4.2
郷土文化センター費	638045	1.0	272,255	1.3
公民館費	1,217,370	2.0	544,166	1.8
教育研究所費	1,319,847	2.2	546,996	1.8
社会教育費	1,344,826	2.2	337,906	1.15
社会体育費	946,716	1.6	306,575	1.04
文武館費	829,500	0.9	300,357	1.02
教育諸費	9,826,424	16.1	6,959,005	23.47
合計	60,886,427	100.0	29,338,380	100.0

上欄の内大分類いたしますと小学校、中学校、社会教育費に分れますが小中学校では教育の振興諸費、物件費、保健衛生学校給食等学校教育上の諸費用に充られ、社会教育費は公民館を初め図書館、アトリの図書館、社会体育、武人等校等に充られた費用で、最後の教育費及び小中学校の児童費等は教育委員会・校園の拡張に伴う買収、工事諸費費等であります。

市議会費

種別	予算額 金額	予算額 百分比	上半期支出済額 金額	上半期支出済額 百分比
市議会費	12,788,313	100.0	6,645,923	100.0

この費用は議会運営についての諸経費並びに本務員同の職員の人件費、物件費等に充てられる費用であります。

市役所費

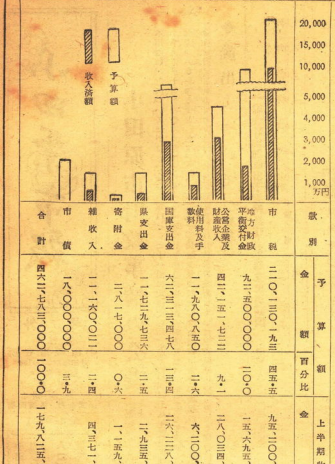
種別	予算額 金額	予算額 百分比	上半期支出済額 金額	上半期支出済額 百分比
市役所職員費	70,031,907	90.1	33,244,042	88.8
監査委員費	211,000	0.3	92,830	0.29
公平委員費	81,200	0.1	31,000	0.08
固定資産評価委員会費	47,000	0.1	14,735	0.03
広報費	970,584	1.2	337,850	0.9
営繕費	1,788,200	2.3	1,358,196	3.6
住民登録費	99,360	0.1	82,983	0.3
諸費	4,470,099	5.8	2,287,315	6.0
合計	77,699,350	100.0	37,448,961	100.0

この費用は市の行政中心たる市役所関係の諸費用がおもであります。そして今年度大部分が市の職員の採用及び不足に伴う物件費でもあり、営繕費は庁舎の修繕等は一部改造費であります。

警察消防費

種別	予算額 金額	予算額 百分比	上半期支出済額 金額	上半期支出済額 百分比
公安委員会費	774,484	1.2	394,004	1.05
警察費	43,732,577	65.3	21,676,617	63.1
消防費	21,983,968	32.8	12,137,023	35.25
水防費	501,000	0.7	22,500	0.6
合計	66,992,029	100.0	34,230,144	100.0

本市警察吟為公安委員会費職員127名、消防職員61名で勤務せられております。この費用はこれらの人件費、物件費等が主であります。本年は警察パトロールカー、消防自動車の購入並び水害に対して水防小屋の増設等高を治安の向上を期しております。



歳別	予算額 金額	予算額 百分比	上半期収入済額 金額	上半期収入済額 百分比
市税	二〇〇一三〇一九三	九二五二〇一二三	一〇五六六一四	五三〇
市債	一九〇〇〇〇〇〇	九・五	九五二〇〇〇〇	五〇〇
補助収入	一一一六〇〇二一	二・八	一二八〇一九五	一〇・六
寄附金	二八一七〇〇〇	〇・六	一一五九〇〇三	一・六
県支出金	一一七二九七三六	二・五	一二九三六〇八五五	一・八
国庫支出金	六六三三二四七八	一三・四	二六六二二六八六五五	一四・六
使用料及手数料	一一九八〇八五〇	二・六	六二〇〇四五六	三・四
公営競技及競輪収入	四一二五一七三	九・一四	一二八〇九五一〇〇	一五・六
平衡交付金	一一九八〇八五〇	二・六	六二〇〇四五六	三・四
地方財政対策交付金	九二五二〇一二三	二〇〇	一二八〇九五一〇〇	一五・六
合計	四五二五一〇〇一九三	一〇〇	二五六六二二六八六五五	二・五

◆歳入について（一般会計）

本市一般会計の歳入は次表のとおりであります。市税の主なるものは市民税及び固定資産税であります。地方財政に対する国庫負担金及び補助金、公営競技及び競輪収入等であり、国庫支出金の補助金の交付金であります。なお競輪収入は今期の成績からすれば、更に増収が可能と思われます。

以上の諸収入によって前途の安泰が期されます。

付金は地方財政に対する国庫負担金及び補助金、公営競技及び競輪収入等であり、国庫支出金の補助金の交付金であります。

◆市税について

市税は本市歳入総額の45%を占めておりますが、その大部分は市民税と固定資産税であります。この両税は伸縮性が少く毎年度安定した収入を見込まれます。市も工場誘致とか諸事業の振興策によってこの両税の税収力の増強を図っております。徴収も相当の成績をあげておりますが今後更に納税についても御協力下さい。

市税税目別予算額調

税目	予算額A	上半期調定額B	徴収額C	徴収歩合 B/C
市民税	95,345,529			
個人		41,117,802	30,015,054	72.8%
法人		16,631,117	15,749,269	94.7%
固定資産税	96,492,400	52,746,333	39,658,026	75.2%
自転車税	2,017,000	2,143,962	1,840,030	85.8%
荷車税	990,000	1,000,500	920,200	92.0%
雑件税	—	1,405,419.94	77,729	5.5%
電気ガス税	15,195,264	8,383,748	6,940,306	82.8%
合計	210,130,193	123,428,881.94	95,200,614	77.3%

前年度繰上金

種別	予算額 金額	予算額 百分比	今期支出済額 金額	今期支出済額 百分比
前年度へ繰上金	16,854,359	100.0	16,854,359	100.0

本市の赤字は昭和25年度を頂点として毎年減少しておりますが、昭和27年度はこの赤字額が赤字となりましたので昭和28年度の収入を以って補塡致しました。

予備費

種別	予算額 金額	予算額 百分比
予備費	1,893,357	

年間の諸経費は毎年当初予算に組込まれておりますが年中途にて思はぬ出費又は予算不足額の補塡等に使われる費用であります。

諸支出金

種別	予算額 金額	予算額 百分比	今期支出済額 金額	今期支出済額 百分比
公金収税費	35,000	0.1	—	
徴税費	4,386,860	17.6	2,081,767	12.5
給与金	52,000	0.2	9,670	0.06
損失費	500,000	2.0	342,712	6.84
諸支出金	20,015,990	80.1	12,935,699	80.6
合計	24,995,011	100.0	15,381,830	100.0

この費用中大部分を占めるものは諸支出金であります がこれは給与不動産の購入費に充てられております。次の徴税費は徴税に要する物件費や納税奨励の報奨金等に充てられました。

農林水産費・商工業費

（前頁より続く）

種別	予算額 金額	予算額 百分比	今期支出済額 金額	今期支出済額 百分比
農業委員会費	3,934,840	16.3	1,497,082	23.5
農業費	3,768,800	15.6	1,478,942	23.2
林業費	390,500	1.6	140,000	2.2
畜産費	790,750	3.3	52,180	0.9
土地改良事業費	3,654,900	15.2	337,900	5.3
蚕糸業費	276,168	1.1	121,635	1.9
水産業費	2,456,500	10.2	185,155	2.9
商工業費	3,246,200	13.5	735,540	11.6
金融対策費	1,084,500	4.5	2,300	0.04
計量取締費	29,500	0.1	—	—
工場誘致費	4,416,097	18.3	1,775,057	27.8
物資需給費	73,400	0.3	37,740	0.66
合計	24,122,155	100.0	6,363,531	100.0

この費用は諸農業と振興費であります。農林水産面については市内七地区に農業委員会を設置し各地区々々に於ける農業面の指導並に事務処理に当らせると共に、農林道の改修、土地改良、家畜育成、病害虫の防除に全力をあげ農業の皆様の保護並び増産に使われました。一方水産、蚕工業については調査会・研究会を隨時開催し或は補助金交出等業者の育成を計り、特に取締関係については市が受注総額した額は60,000,000円にのぼりました。又工場誘致費は大岡地区工場の誘致に伴う敷地の買収等に使われました。金融対策費は中小商工業者に対し市内金融機関が融資する場合の保証金が主であります。

観光費

種別	予算額 金額	予算額 百分比	今期支出済額 金額	今期支出済額 百分比
海水浴場費	207,300	2.5	159,899	6.7
温水プール費	810,762	10.0	555,769	23.5
ボート費	355,844	4.4	301,550	12.7
公園費	2,419,628	29.7	180,992	7.6
動物園費	1,022,500	12.6	231,220	9.8
遊園費	946,968	11.6	137,160	5.8
諸費	2,373,000	29.2	801,982	33.9
合計	8,137,002	100.0	2,368,572	100.0

観光事業に市の損失額の一つでもありますがこの費用は何れもそれに対する費用であります。これによって観証公園うの美化清掃源に動物園の飼育、海水プール・ボート並遊具の整備その他各種施設物を設ります。併し一方これらよりあがるところの使用料は今期迄に約200,000円余ありました。

財産費

種別	予算額 金額	予算額 百分比	今期支出済額 金額	今期支出済額 百分比
基本財産造成費	160,724	6.3	—	—
積立金	569,024	18.6	—	—
財産管理費	2,326,309	76.1	2,135,760	100.0
合計	3,056,057	100.0	2,135,760	100.0

市財産特に路地敷に対する火災保険料が大部分あります。

統計費

種別	予算額 金額	予算額 百分比	今期支出済額 金額	今期支出済額 百分比
統計調査費	666,625	100.0	322,921	100.0

産業調査・商工業調査・学校調査等種々の統計調査に要した費用。

選挙費

種別	予算額 金額	予算額 百分比	今期支出済額 金額	今期支出済額 百分比
選挙管理委員会費	521,587	35.8	258,865	25.2
選挙人名簿調製費	136,200	9.4	9,795	1.0
参議院議員選挙費	368,030	25.3	352,870	35.3
衆議院議員選挙費	430,580	29.5	390,277	38.5
合計	1,456,397	100.0	1,011,807	100.0

市が行う色々な選挙は調会の同意と得て市長が任命した委員によって運営されておりますが、この費用中前の二つは毎年必要とする費用であり、後の二つは今年行われた選挙に対する諸費用であります。

公債費

種別	予算額 金額	予算額 百分比	今期支出済額 金額	今期支出済額 百分比
元利償還金	10,585,866	80.0	5,283,762	87.0
利子	2,628,000	20.0	781,698	13.0
合計	13,164,866	100.0	6,065,460	100.0

諸事業費に充てるため長期借入金をしたり、又は毎月の收入支出のバランスをとるため一時的借入金を設しますが、元利償還は長期借入金の返済であり、利子は短期借入金の支拂利子であります。

◆ 財産

1. 基本財産

イ、醫療の部　5,000円

ロ、興業の部　385,560円78銭

2. 市有財産

イ、興業の部　1,536,904円73銭

ロ、土地の部　市管敷地その他　182,736円57

ハ、建物の部　市管その他　24,716円965

(公園施設及び巡礼構造物は省略)

3. 共有財産

造林の部

湯河原町及市面町所在造林219町67の　51,745 / 10分分　当市持分

◆ 一時借入金現在高

借入目的	借入先	金額	利率	摘要
財政調整資金	資金運用部	30,000,000円	月歩1銭5厘	一般会計分
同	郵政省	4,000,000	〃	〃
同	殷河銀行	11,000,000	〃	〃
同	信用金庫	2,000,000	〃	〃
医療費支出	殷河銀行	6,000,000	〃	国保会計分
計		53,000,000		

◆ 市債について

市債は次表のとおりですが、これは何れも市勢伸張に伴う諸事業等に充てるため、借入れたものであります。返済は元利均等の年賦償還でありますが、利率は最高年八分七厘余最低三分二厘で大部分は六分五厘であります。又据置期間は色々でありますが、一番長いものは昭和四十八年までに返済すればよいものもあります。

市債現在高調 (目的別) (昭28.9.30現在)

種別	金額
震災復旧費	1,208,984
教育費	38,569,915
災害復旧費	19,559,681
産業経済費	27,462,453
社会及労働施設費	17,173,760
土木費	12,033,245
職員復旧費	1,939,562
消防費	5,200,000
上水道事業費	72,388,822
その他	1,265,138
計	196,931,565

市債現在高調 (借入先別)

借入先	金額
資金運用部	192,566,915
簡易保険局	155,666
神奈川県	1,208,984
その他	3,000,000
計	196,931,565

あとがき

本市財政の現況は前述のとおりであります。今後市の例年の必然的おとる教育・土木費の増加に伴い、現在の財政は、ますます厳しい諸事業が期待されるものと思われます。

市民諸氏の絶端なるご協力をもって、現在の市税は殆んど調定済の状態であります。

また、今後の財政運営は、何時の日か、地方財政平衡交付金の制度が復活するまでは、自己の財源で、出来ない事業は、一切、中止する覚悟であります。

本年度は、特別会計の一部を除き、ほぼ、当初予算の通りに執行されましたが、特別会計の一部は、当初予算の通りに執行されましたが、特別会計の一部は、当初予算の通りに執行されましたが、特別会計の一部は

◆決算概況について

昭和二十七年度の各会計別歳入歳出決算概況について記してみます。

昭和二十七年度歳入歳出決算概況（歳出）

主なる支出の内容

費目	予算額	決算額
職員給	一、三二二、〇〇〇	一、三二二、〇〇〇
物件費	五、三五〇、一二五	五、三五〇、一二五
旅費	五、四五〇、一二五	五、四五〇、一二五
人件費	四、一〇四、一二五	三、五四六、七一六
都市開発費	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
港湾費	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
中央教育費	一、二二〇、〇〇〇	一、二二〇、〇〇〇
社会教育費	一、二二〇、〇〇〇	一、二二〇、〇〇〇
共同墓地費	一、七六〇、〇〇〇	一、七六〇、〇〇〇
民生費	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
土木費	八、二七七、七七九	八、二七七、七七九
教育費	五、二二四、三〇六	四、九、〇八七、一一一
社会労働費及勞働諸費	一、三四一、九九九、八四〇	一、三四一、九九九、八四〇
農業経済費	一、六、九八九、一、三八八	一、六、九八九、一、三八八
農業改良費	八、九三三、五七七	八、九三三、五七七
財産費	二、九八一、七一一	二、九八一、七一一
予備費	一、二、九〇、三三六	一、二、九〇、三三六

主なる歳入の内容

費目	予算額	決算額
職員給納	一、三二二、〇〇〇	一、三二二、〇〇〇
物件費収入	五、三五〇、一二五	五、三五〇、一二五
雑費収入	五、四五〇、一二五	五、四五〇、一二五
人件費収入	四、一〇四、一二五	三、五四六、七一六
都市開発費補助金	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
港湾費補助金	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
中央教育費補助金	一、二二〇、〇〇〇	一、二二〇、〇〇〇
社会教育費補助金	一、二二〇、〇〇〇	一、二二〇、〇〇〇
共同墓地費補助金	一、七六〇、〇〇〇	一、七六〇、〇〇〇
民生費補助金	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
土木費収入	八、二七七、七七九	八、二七七、七七九
教育費収入	四、九、〇八七、一一一	四、九、〇八七、一一一
社会労働費及勞働諸費収入	一、三四一、九九九、八四〇	一、三四一、九九九、八四〇
農業経済費収入	一、六、九八九、一、三八八	一、六、九八九、一、三八八
農業改良費収入	八、九三三、五七七	八、九三三、五七七
財産費収入	二、九八一、七一一	二、九八一、七一一
予備費収入	一、二、九〇、三三六	一、二、九〇、三三六

昭和二十七年度歳入歳出決算概況（歳入）

主なる歳入の内容

費目	予算額	決算額
市税	一、九六六、三六五	一、九六六、三六五
市税附加徴収金	一、九六六、三六五	一、九六六、三六五
公衆衛生費負担金	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
財産収入	五、七六八、六五五	五、七六八、六五五
諸収入	一、〇〇〇、九七〇	一、〇〇〇、九七〇
国庫支出金	二、二四九、九九四、七二一	二、二四九、九九四、七二一
県支出金	二、〇九八、七〇七	二、〇九八、七〇七
繰越金	二、九八一、七一一	二、九八一、七一一
計	四、九〇七、九七六、八五五	四、九〇七、九七六、八五五

昭和二十七年度歳入歳出決算概況（歳出）

費目	予算額	決算額
統計調査費	八、〇九、三九四	八、〇九、三九四
選挙費	二、一六三、三三八	二、一六三、三三八
公債費	一、一六四、一四四、五五	一、一六四、一四四、五五
諸支出金	二、三六、八四四、五五五	二、三六、八四四、五五五
予備費	二、二四、八五五、〇〇〇	二、二四、八五五、〇〇〇
計	二、二四、七五七、一二二、三三	二、二四、七五七、一二二、三三

昭和二十七年度歳入歳出決算概況（歳入）

主なる歳入の内容

費目	予算額	決算額
市税	一、九六六、三六五	一、九六六、三六五
市税附加徴収金	一、九六六、三六五	一、九六六、三六五
公衆衛生費負担金	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
財産収入	五、七六八、六五五	五、七六八、六五五
諸収入	一、〇〇〇、九七〇	一、〇〇〇、九七〇
国庫支出金	二、二四九、九九四、七二一	二、二四九、九九四、七二一
県支出金	二、〇九八、七〇七	二、〇九八、七〇七
繰越金	二、九八一、七一一	二、九八一、七一一
計	四、九〇七、九七六、八五五	四、九〇七、九七六、八五五

昭和二十七年度歳出決算概況（歳入）

主なる歳入の内容

費目	予算額	決算額
市税附加徴収金	一、九六六、三六五	一、九六六、三六五
公衆衛生費負担金	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
財産収入	五、七六八、六五五	五、七六八、六五五
諸収入	一、〇〇〇、九七〇	一、〇〇〇、九七〇
国庫支出金	二、二四九、九九四、七二一	二、二四九、九九四、七二一
県支出金	二、〇九八、七〇七	二、〇九八、七〇七
繰越金	二、九八一、七一一	二、九八一、七一一
計	四、九〇七、九七六、八五五	四、九〇七、九七六、八五五

昭和二十七年度歳入歳出決算概況（歳出）

費目	予算額	決算額
統計費	四、二六、九、九三	四、二六、九、九三
選挙費	二、一六三、三三八	二、一六三、三三八
公債費	一、一六四、一四四、五五	一、一六四、一四四、五五
諸支出金	二、三六、八四四、五五五	二、三六、八四四、五五五
予備費	二、二四、八五五、〇〇〇	二、二四、八五五、〇〇〇
計	二、二四、七五七、一二二、三三	二、二四、七五七、一二二、三三

昭和二十七年度水道事業費歳入歳出決算概況

費目	予算額	決算額
市税収入	一、〇二、五一一、一一一	一、〇二、五一一、一一一
工事収入	七、四九〇、五六〇、五六〇	七、四九〇、五六〇、五六〇
雑収入	七、五四一、七一一、五二五	七、五四一、七一一、五二五
繰越金	一、〇、五四七、一一一、一一一	一、〇、五四七、一一一、一一一
総入金	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二、〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
市債	四、九、四四、七、〇三三	四、九、四四、七、〇三三
計	四、六、六、二、一、一、一